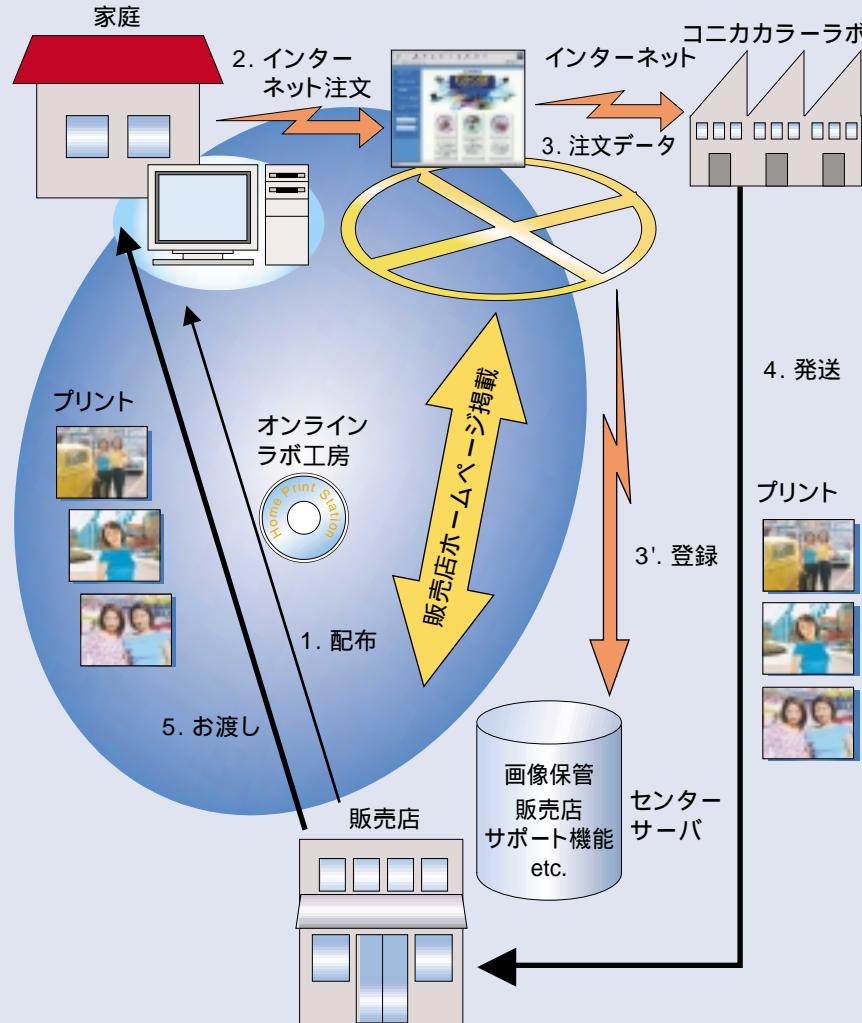


Konica Topics



近年、インターネットとデジタルカメラの普及により、パーソナルシーンでもデジタルイメージングのアウトプットやコミュニケーションのニーズが急速に高まっており、より手軽で実用的なソリューションが求められています。『コニカ オンラインラボ』は、ネットプリントサービス、デジタル画像のWeb保管サービス、Web上のコミュニティサービスを中心としたパーソナルユース用のデジタルイメージングネットワークサービスです。今回スタートするサービスは、デジタルイメージングの今後の普及・発展にも対応できるベーシックサービスとして、コニカが提案するWebソリューションです。3大サービスは以下のとおりです。

「デジタル百年プリントサービス」

会員登録されたお客様が、『コニカ オンラインラボ』サイトで自宅から画像をアップロードしプリント注文ができるサービスです。画像加工・プリント



デジタルレイメーディングのWebソリューション 『コニカ オンラインラボ』サービスを開始

パソコンソフト「コニカ オンラインラボ工房」¹⁾を使えば、デジタルカメラで撮影した画像のプリントやポストカードのような加工プリントを、誰にでも簡単な操作で注文することができます。

ご注文のプリントの受け取り場所は『コニカ オンラインラボ』Webページにリストアップされた加盟店の中からお選びいただくことができ、ご自宅に直送することも可能です²⁾。

「オンラインアルバムサービス」
会員登録されたお客様が自宅のパソコンから、1年間 50MBまで無料でコニカのサーバーに画像保存ができるサービスです³⁾。

アルバム保存された画像は、お客様が独自に設定する「パーソナルフォルダ」にアルバム感覚で整理でき、遠く離れた家族や友だちともインター

ネット上で共有して楽しむことができます。シェアされた画像はインターネット上からデジタル百年プリントサービスのプリント注文も可能です。

「オンラインパーク」⁴⁾

会員だけでなく非会員の方にもデジタル画像の楽しさの領域を広げる、『コニカ オンラインラボ』のコミュニティ&アミューズメント Web サイトです。例えば、「似顔絵サービス」は、会員がアップロードした顔写真を似顔絵にデフォルメして Eメールで添付返信する ASP サービスです。『コニカ オンラインラボ』開設当初は無料でお楽しみいただくことができます。

また、コニカのホームページにもリンクされており、「楽しい写真教室デジタルカメラ編」もご覧いただけます。デジタルカメラの使い方がわかり易く解説されており、デジタルイメージングについての理解が深められます。

「コニカ オンラインラボ工房」

『コニカ オンラインラボ』サービスをご家庭で気軽にお楽しみいただくために作成した画像加工・プリント注文のためのパソコンソフトのことで、写真店の店頭を中心に CD-ROM などで配布されます。お客様が自宅のパソコンにインストールするだけで、煩雑なインターネット接続設定を一切行わずに画像加工やネットプリント注文、Web 上に画像の保管を行うことができます。

また、お客様が「コニカ オンラインラボ工房」を立ち上げるたびに自動的に『コニカ オンラインラボ』のセンターサーバーにアクセスされバージョンアップされる自動ダウンロード機能により、つねに更新された最新の情報・サービスを受けることができます。

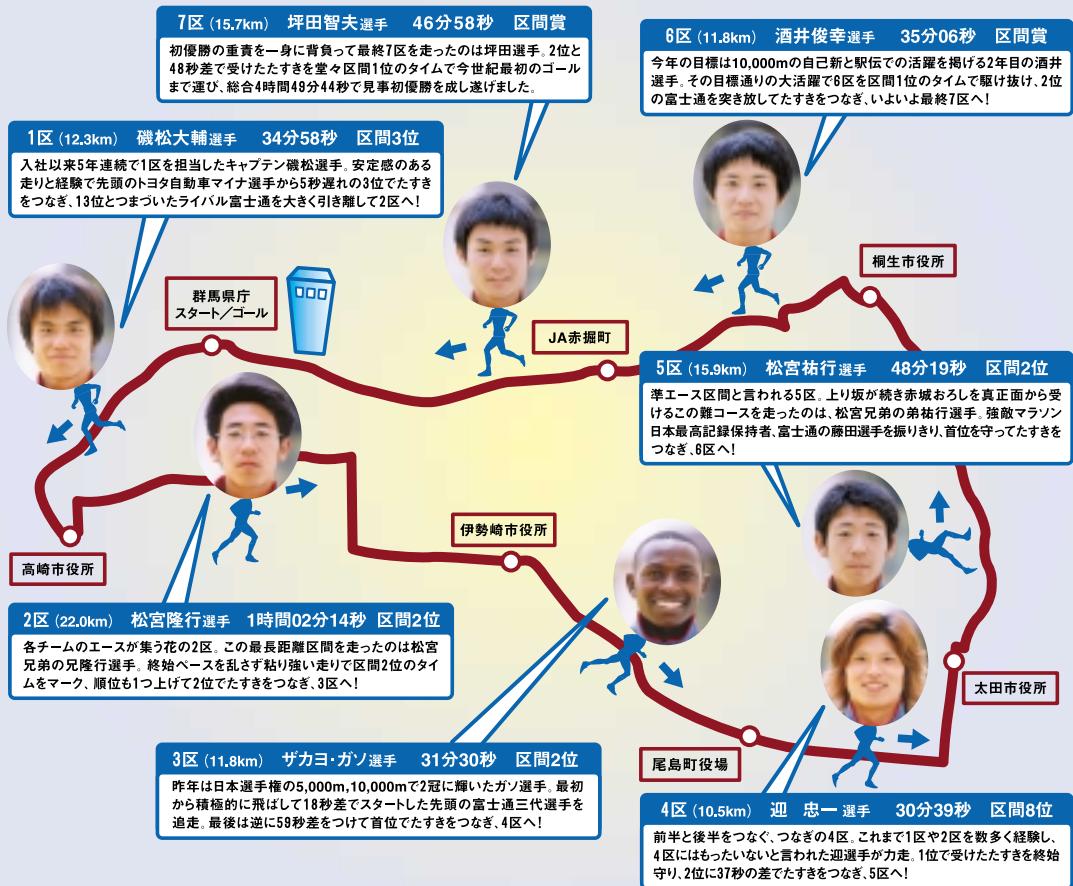
¹⁾「コニカ オンラインラボ工房」は Windows 用のアプリケーションソフトです。

²⁾直送は別途料金がかかります。

³⁾ 50MB以上、1年間以上の画像保存を希望されるお客様には有料サービスも提供いたします。

⁴⁾ 「オンラインパーク」は上記コンテンツからスタートし、徐々に充実させていく予定です。

ニューイヤー駅伝 第45回全日本実業団対抗駅伝競走大会(7区間 100km)



酒井監督コメント



多くの皆様からのご声援、ご支援に感謝申し上げます。まことにありがとうございました。今大会前から、当社陸上競技部への下馬評は高く、プレッシャーが全くなかった訳ではありません。私からは5位以内の入賞を目指してきましたが、選手は優勝の2文字にこだわり続けてきました。また、ワニライナ選手のシドニーオリンピック男子マラソン銀メダル、ガソ選手の日本選手権ダブルタイトル等、両外国人選手の活躍も選手たちに良い励みになったようです。今後はこの成績に慢心せず、“世界に通用するランナー”を選手との共通の目標にして頑張ってまいります。さらなるご支援、よろしくお願いいたします。

ニューイヤー駅伝第45回 全日本実業団対抗駅伝競走大会 で初優勝

コニカ陸上競技部(監督酒井勝充)は、2001年元旦に行われた「ニューイヤー駅伝第45回全日本実業団対抗駅伝競走大会」(主催:日本実業団陸上競技連合)で初優勝を飾りました。

新世纪の幕開けとともにさわやかに群馬上州路を駆け抜けた「コニカの駅伝チーム」の快走は、全国規模でテレビ等で映し出され、正月のお茶の間

に感動を呼び起きました。当日は、上州名物空っ風をはるかにしのぐ、嵐に近い寒風が吹き荒れる中でのレースでしたが、各選手は、むしろそれを“追い風”ととらえ“チャンスを呼び込む嵐”として歓迎しているかのような勢いでした。

昨年11月12日に行われた本大会の予選とも言える「東日本実業団対抗駅伝競走大会」で初優勝を遂げて以来、「元旦は、コニカの優勝の可能性大」との下馬評がうなぎのぼりで、監督

や選手には、言葉には表せないプレッシャーもかかっていました。

監督の酒井は、「あくまで5位以内を目標」と宣言する一方、選手からは「絶対、優勝を狙う」とやや監督と選手との間に心理面に隔たりがあったようです。しかし、監督は、12月29日、前橋市の宿舎に到着以降はこれまでとは一転し、「私は、もっと上位を狙う」と強い意思を表明。大会直前には、監督をはじめ、コーチ、各選手は、「優勝」の二文字だけを視野に大目標に向かっていました。後日監督は、「早い時期から選手に過度のプレッシャーはかけられない」との考えから控えめな発言を繰り返したのだと、本心を語っていました。

本大会には、これまで26回の出場を果たしていますが、過去の実績では、44回大会(2000年元旦)の4位が最高成績であり、今回の優勝は、1970年のコニカ陸上競技部創部以来、最高の快挙となりました。

